
【番号・テーマ】 12. 学校生活

【单元名】 フランス語で時間割を紹介しよう

【基本情報（実施時）】

授業時間・形態：200分（1コマ50分×4コマ）、週1回2コマ続き

学習歴：初習1年目

クラスサイズ：

10名以下 10～20名 20～30名 30名以上

レベル：

A1.1 A1 A2 B1

【授業の位置づけ】 第二外国語、選択必修

【単元の目標】

- ・フランスの学校（小中高）の時間割を理解し、フランス語で紹介することができる。
- ・自分の時間割をフランス語で紹介することができる。
- ・自分の時間割とフランスの高校生の時間割を比較し、時間割や学習科目の違いをフランス語で言うことができる。

【具体的な学習事項】

【単元に該当する指標形式の目標】

やりとり	<ul style="list-style-type: none">・時間割について話し合うことができる。・時間の長さや頻度を表す表現を使って、時間割を紹介し合うことができる。・フランス語で紹介された時間割（科目名、時間の長さ、頻度）について必要な語彙を使い、説明できる。・自分が理想とする時間割を紹介できる。
------	--

【具体的な評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・ avoir, -er 動詞を用いた文の構造を理解し、適切に使える。・時間の表現や頻度を表す表現を理解し、適切に使える。・フランスの時間割を読み取れる。	<ul style="list-style-type: none">・時間割を書いて、そして口頭で表現できる。・ avoir, -er 動詞、時間や頻度の表現を適切に用いて、時間割について話し合う。・日本とフランスの時間割を比較し、社会文化的な相違を検討し、表現する。	<ul style="list-style-type: none">・ペアワークにおいて、間違うことを恐れずに話す。・話し相手の話していることに積極的に耳を傾ける。・日本とフランスの時間割の比較を通して、社会文化的な相違点や類似点を見つける。・異文化に寛容になる。

〔目標とする言語項目と社会文化項目〕

言語項目

時間割について説明する表現：

Les lycéens français étudient deux langues étrangères. Ils apprennent le latin.

Les lycéens français apprennent les Sciences économiques et sociales.

Les lycéens ont mathématiques le lundi.

Ils n'ont pas de cours le mercredi après-midi.

Nous avons l'EPS 5 jours par semaine.

Nous étudions l'anglais tous les jours.

Nous n'avons pas cours le matin.

Le cours de mathématiques commence à 8 heures.

Le cours de français finit à 14 heures.

科目名に関する語彙：langues vivantes, français, anglais, espagnol, mathématiques, histoire-géographie, EPS, physique-chimie, etc.

曜日：lundi, mardi, mercredi, etc.

疑問詞 quand, combien de..., à quelle heure ?

時間の表現 (à ... heure(s), de ... heure(s) à ... heure(s))

頻度を示す表現 (... fois par semaine)

③既習事項

動詞の現在形 (avoir, être, -er 動詞, apprendre の活用)、冠詞と前置詞 à、de の縮約形、否定文、時刻の言い方・尋ね方、数字 (1 から 59)、序数詞

社会文化項目

- ・時間割・教科：「日本とフランスでは時間割に違いがあるのだろうか」
- ・日仏の高校で学ぶ科目の相違を発見して、相違について考える。

【授業資料】

フランスの中高大の時間割 3 枚、単語リスト (科目名)、ワークシート① (フランスの時間割の分析シート)、作文シート① (フランスの時間割についての作文)、ワークシート② (日仏の時間割の比べるシート 1 枚)、単語ミニテスト、ワークシート③ (理想の時間割表作成)、作文シート② (白紙)、ループリックシート、ワークシート④ (時間割紹介ビデオ評価シート)、ワークシート⑤ (活動振り返りシート)

授業で使ったもの：タイマー、タブレット端末

【授業の過程】

[第 1 週]

[第 1 次]

- ①フランス語で書かれた時間割、ワークシート①を配布
グループ活動：フランスの学校の時間割の分析し、それについて議論する。
- ②単語リスト配布
クラス活動：科目名に関する語彙を学習する。
- ③既習事項の確認、作文シート①の配布
グループ活動：フランス語の時間割を紹介する文を作成。
- ④クラス活動：曜日・時間・頻度を表す語彙と表現を学習する。
- ⑤グループ活動：頻度を表す表現を用いて、フランス語の時間割を紹介する。

[第2次]

- ①グループ活動：第1次の成果物を確認する。
- ②グループ活動：成果物であるフランスの時間割紹介を口頭で発表する。
- ③グループ活動：フランスの時間割についての議論

[第2週]

[第1次]

- ①クラス活動：語彙確認、科目名に関する単語テストを実施する。
- ②クラス活動：第1週目の学習事項を復習する。
- ③ワークシート③を配布
グループ活動：理想の時間割を作成する。
- ④ルブリックシートを配布、作文シート②を配布
グループ活動：、理想の時間割を作成し、ロイロノート経由で提出する。

[第2次]

- ①グループ活動：理想の時間割紹介ビデオの作成を準備する。
- ②グループ活動：紹介ビデオを撮影し、ロイロノート経由で提出する。
- ③ワークシート④を配布
個人活動・グループ活動：紹介ビデオの鑑賞、相互評価
- ④まとめ：学習の評価とその共有

第一週：フランスの高校の時間割を理解しよう。

	時間	生徒の学習活動	教員の活動及び指導・支援	評価の観点・基準
第1次	導入	【あいさつ】	あいさつ フランスの時間割を使って 学びながら、理想の時間割 を紹介する動画撮影を行う ことを伝える。	

展開 10分	<p>【グループ活動】 【フランスの時間割を発見する】 フランス語で書かれた複数の時間割を見ながら、高校の時間割を見つけるグループワーク</p> <p>フランスの高校の時間割に関する教師の問いに返答する。</p>	ワークシート①と参考資料を配布。	<ul style="list-style-type: none"> ・理解するために既知の語彙や表現を活用しているか。 ・活動に参加しているか。
展開①-1 10-15分	<p>【グループ活動】 【語彙の確認と導入】 単語リストを使い、フランスの時間割を理解する。</p> <p>新出語彙を練習する。</p>	<p>単語リストを配布し、単語リストを使って新出語彙を導入する。</p> <p>翌週に単語テストを実施することを告知する。</p>	<p>意味を理解しているか。</p> <p>大きな声で積極的に発音できているか。</p>
展開①-2 10-13分	<p>【グループ活動】 【時間割を紹介する動詞を学ぶ】 フランス語の時間割をフランス語で紹介する文を書く。</p>	<p>作文シート①を配布する。</p> <p>Avoir, étudier, apprendre の活用を確認しつつ、紹介文を3つ作成させる。</p> <p>モデルとなる例文を電子黒板に提示し、タブレット端末へも配布する。</p>	<p>Avoir、-er 動詞の活用が正確にできているか。</p> <p>既習語彙、表現、文法を活用しているか。</p> <p>動詞の活用を理解しているか。</p>
展開②-1 7分	<p>【グループ活動】 【曜日、時間表現を確認する】 時間割に登場する語彙を復習する。</p>	<p>数字(1~20)、時間、曜日を口頭で確認する。</p> <p>生徒の発音を確認する。</p>	<p>曜日、時間の表現を正確に理解でき、正しく発音しているか。</p>

	展開②-2 8分	【グループ活動】 フランスの高校の時間割をみて、時間割を紹介する文を作成する。	作文シート①を配布する。 金曜日の時間割に登場する科目名を使って文を3つ作成させる。 電子黒板にモデル文を示し、参考にするように指示を出す。	de quelle heure à quelle heure? (新出事項)を理解できているか。
	展開②-3 10分	【グループ活動】 【頻度を表す表現を学ぶ】 頻度を表す表現を用いて、時間割を紹介する文を作成する。	作文シート①を配布し、頻度を表す表現 (…fois par semaine)を確認させ、文を2つ作成させる。 電子黒板にモデル文を示す。	積極的に学習に取り組んでいるか。 正確に文が書けているか。 正確に発音できているか。
第2次	復習 10分	【グループ活動】 前時限に作成した文(8文程度)を見直し、完成する。	前時限とは異なるペアで実施させる。	
	確認 5分	【個人活動】 【口頭で時間割を紹介する】 作成した紹介文を音読し、録音データを提出する。	タブレット端末を使い、2つの課題を提出させる。	

展開③ 10分	<p>【グループ活動】 日本とフランスの時間割を比較する。</p>	<p>ワークシート②配布 フランスの時間割と大妻中野高校の時間割を比較させる。</p> <p>次回授業時にグループにて気づいたことを報告するように指示を出す。</p>	<p>積極的に活動に参加しているか。</p> <p>皆が発言するように工夫しているか。</p> <p>フランスの学校生活に興味を持っているか（文化への関心）。</p> <p>客観的に文化的差異を見ようとしているか（感想で終わりにしない）。</p>
まとめ 15分	<p>【クラス活動】 【学習の振り返り】 ・フランスの高校の時間割の特徴やその理由について、クラスレベルで意見を共有し、フランスの学校生活について理解する。</p>	<p>学生の理解度を確認する。</p> <p>次週の授業で語彙に関する確認テストを実施すると伝える。</p> <p>配布したプリントを次週も持参するよう指示する。</p>	<p>説明を理解できているか、関心を持っているか。</p> <p>【評価方法例】 ・提出した作文を添削し、形成的評価を実施する。理解度が不十分なところは翌授業で再度扱う。</p>

第二週：自分たちの理想の時間割をフランス語で紹介しよう。

	時間	生徒の学習活動・教員の動き	教員の活動及び指導支援	評価の観点・評価基準
第1次		【あいさつ】		
	復習① 8分	【クラス活動】 科目名の単語テスト	穴埋め形式のテスト	前回学んだ語彙が定着しているか。
	復習② 10分	【クラス活動】 前週に行った日仏の時間割の比較を確認する。 フランス語で時間割を紹介する復習をする。	ワークシート②を使い、日仏の時間割の相違（類似）点を確認する。 電子黒板に示したモデル文を復習させる。 気づいたことなどを補足させる（日本語で可）。	表現や社会文化項目が定着しているか。 積極的に参加しているか。

	展開①-1 10分	【グループ活動】 【理想の時間割の作成】 理想の時間割紹介文を考える。	白紙（ワークシート③）配布 生徒のイメージーションやこだわりを表現するように促す。	積極的に活動に参加しているか。
	展開①-2 20分	【グループ活動】 理想の時間割についての紹介文を作成する。 紹介文の音読を練習する。	ループリックシートと作文シート② 次時限にて理想の時間割紹介ビデオを作成、提出することを伝える。 モデル文を電子黒板に提示する。 ワークシートをタブレット端末経由で提出させる。	正確に文が書けているか。 正確に発音できているか。 表現を理解しているかを確認しておく。 【評価方法案】 学期末試験内において理解度を評価する。 (Compréhension écrite/Production écrite)
第 2 次	展開②-1 5分	【グループ活動】 【紹介ビデオ撮影準備】 理想の時間割をフランス語で紹介するビデオ撮影の練習をする。	ループリックの評価基準を確認させ、紹介ビデオ作成の最終準備（文の修正、発音の最終確認）を行わせる。	正確に発音しようとしているか。 ペアワークができているか。 練習に集中していたか。
	展開②-2 10分	【グループ活動】 【撮影】 紹介ビデオを作成し、提出する。	視聴する人を意識して紹介できるように指示を出す。	活動に集中しているか。
	展開③ 15分	【クラス活動】 【鑑賞】 時間割紹介ビデオを鑑賞し評価する。	ワークシート④を配布し、紹介ビデオを鑑賞しながら、相互評価を行わせる。	他のグループのビデオを見ることに集中しているか。

	<p>総括 20分</p>	<p>【個人活動・クラス活動】 【授業活動のまとめ】 4 時限分の授業活動を振り返り、ワークシートに記入する。 授業を通して考えたことを共有する。</p>	<p>ワークシート⑤を配布し、学習事項の振り返りを行わせる。 生徒を指名して発言を促す。時間に余裕があれば、クラスで議論、意見交換する。</p>	<p>積極的に活動に取り組んでいるか。 【評価方法案】 筆記テスト(日本語やフランス語の時間割を提示し、作文や質問に回答するような問いを学期末試験で実施) 振り返りシートを平常点評価の1つに加える。</p>
--	-------------------	--	---	--